

# 調査月報 2017/08

## 目 次

<b>A.台湾経済</b>	1. 景 気 01	2. 物 價 01	3. 失 業 率 01	
	4. 通 関 貿 易 02	5. 鉱 工 業 生 產 02	6. 小 売 業 売 上 高 02	
<b>B.トピックス</b>	'前瞻基礎建設計画'の最終可決について 03			
<b>C.経済統計</b>	台灣主要經濟指標 04	物 價 指 數 06	雇 用 概 況 06	貿 易 統 計 07
	鉱 工 業 生 產 指 数 10	商 業 売 上 高 伸 び 率 10	為 替 相 場 11	對 台 · 對 外 投 資 統 計 13

みずほ銀行  
台北支店/台中支店/高雄支店

**1.景気 2017年6月****a.景気総合判断点数**

前月より1点上昇し21点となった。景気対策信号は冷え込み注意を示す「黄青ランプ」で推移した。当局は、世界の景気回復に伴い輸出は引き続き安定を維持するとの見方を示した。

**b.景気動向指数****①景気一致指数(当面の景気動向を示す指標)**

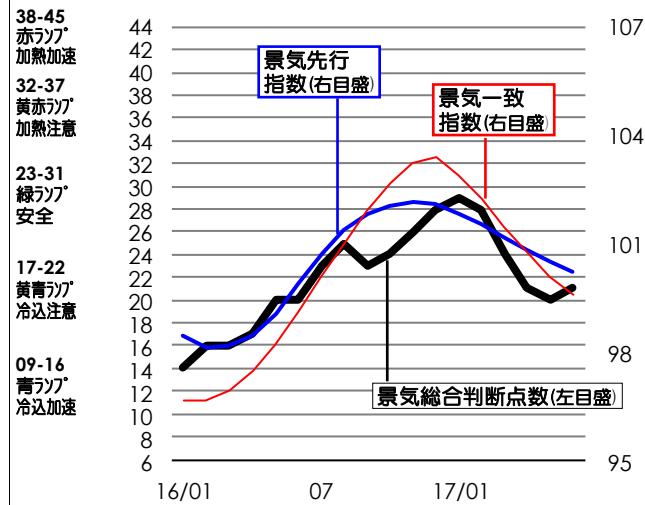
製造業出荷額指数、機械・電機設備輸入額、電力使用量、通関輸出額、鉱工業生産指数、商業売上高の減少で前月比で下落した。

**②景気先行指数(数カ月先の景気動向を示す指標)**

建物延床面積、SEMI半導体B/Bレシオ、M1B等の減少で前月比下落した。

\*SEMI=国際半導体製造装置材料協会

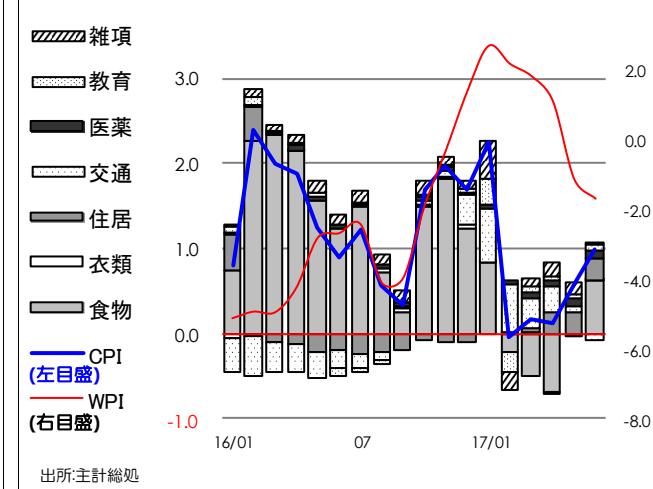
\*M1B=現金通貨+普通預金+個人向け普通貯蓄預金+当座預金

**図 A1.景気総合判断点数と景気動向指数の推移** 出所:国発会**2.物価 2017年6月****a.卸売物価**

電子部品、輸送器具、化学製品等の値下げを受けて、前年同月比でマイナスで推移した。

**b.消費者物価**

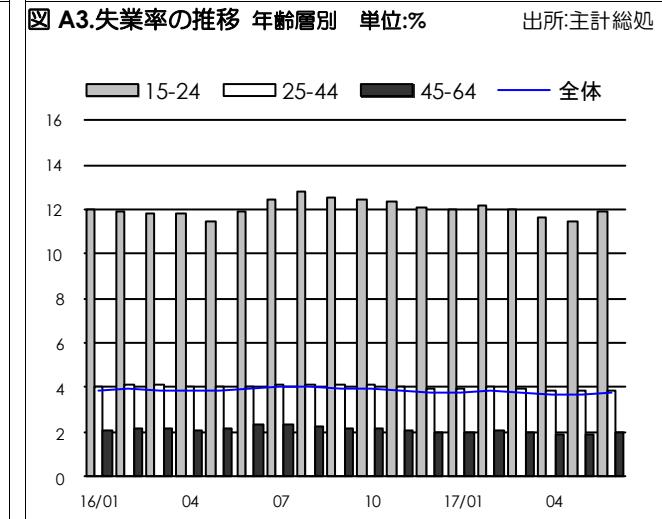
- ①食物類が豪雨による野菜の値上げで上昇したこと
  - ②医療保健類が医療費等の値上げで上昇したこと
  - ③住居類がガスや家賃等の値上げで上昇したこと
- 等から、前年同月比で増加で推移した。

**図 A2.物価指数上昇率と構成項目の寄与度** 単位%、前年比ベース**3.失業率 2017年6月****a.失業率:3.74%**

前月より0.08ポイント上昇した。失業者数は44万人で前月より9千人増加した。うち、初めての求職活動で仕事が見つからなかった人は9千人、仕事内容への不満から離職した人は1千人、季節性または臨時性業務の終了等による失業者は1千人増加した。

**b.就業**

就業者数は、前年同月比+0.76%の1,133万7千人。業種別では、製造業は前年同月+0.64%の304万人、第三次産業は同+0.99%の672万人となっている。産業別就業者数の構成比を見ると、製造業26.83%、第三次産業59.31%、その他(一次産業+製造業を除く二次産業)13.86%となっている。

**図 A3.失業率の推移 年齢層別** 単位:%

**4.通関貿易 2017年6月****a.輸出**

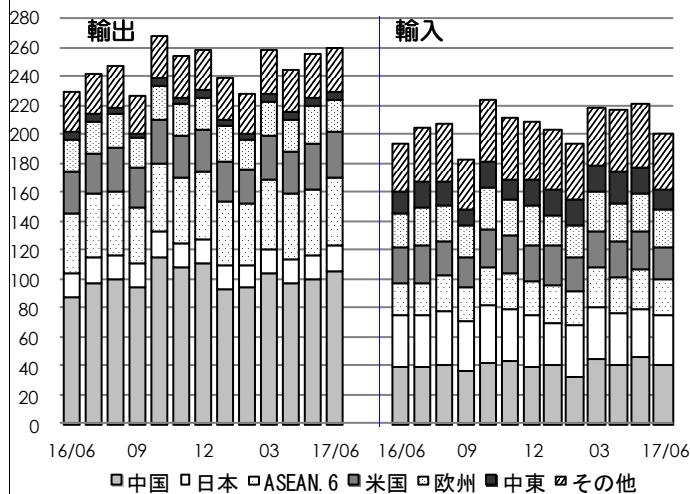
- ①中国向けの電機機械やゴム・プラスチックの活況、精密機器の堅調
- ②アセアン向けの電機機械の活況、ゴム・プラスチックの堅調、精密機器の大幅増
- ③米国向けの電機機械の堅調、金属の増加、化学品の活況  
等から、前年同月比では9か月連続のプラス成長となった。

**b.輸入**

- ①中国からの電機機械の堅調
- ②欧州からの電機機械の増加
- ③アセアンからの鉱物品の好調、電機機械の増加、ゴム・プラスチックの堅調  
等から、前年同月比では9か月連続のプラス成長となった。

**c.収支**

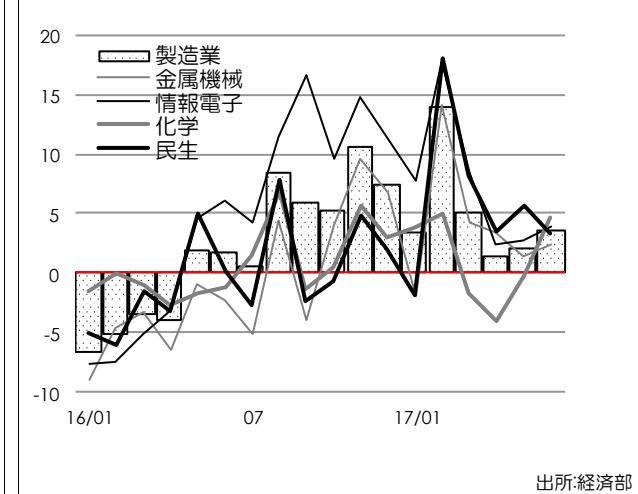
前年比ベースでは、黒字額は対中、対米、対アセアンが増加した。赤字額は対欧州が増加、対日が減少した。

**図 A4.輸出入 国別実績 億 US\$****5.鉱工業生産 2017年6月****a.鉱工業生産全般**

半導体関連や液晶パネルの受注増が全体の数値を押し上げ、前年同月比では2カ月連続でプラス成長となった。当局は、今後の展望について、世界経済の回復や電子部品業等好調な受注を背景に、製造業の需要が増えるとみている。

**b.製造業 4大産業別**

- ①金属機械  
機械設備の需要増があったため、プラスで推移した。
- ②電子情報  
IC や大型液晶パネル等の好調な出荷でプラスで推移した。
- ③化学  
石油化学原料の需要回復でプラスに転じた。
- ④民生  
たばこが増産したことでプラスで推移した。

**図 A5.製造業 4大産業別伸び率推移 単位% 前年比ベース****6.小売業売上高 2017年6月****a.小売業全般**

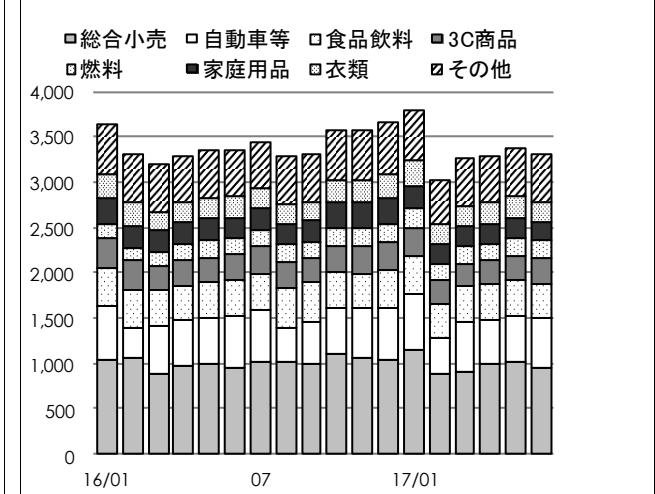
新車買い替え補助政策の効果減速等による自動車の需要減に加え、既製服や食品等の売上高も減少したため、前年同月比でマイナスに転じた。

**b.総合小売業**

- ①百貨店 天候不順等の影響でマイナスに転じた。
- ②スーパー スーパーの出店拡大、生鮮食品の取り扱い強化が売上高の上昇を促した。
- ③コンビニ 出店拡大に加え、気温上昇で飲料等の販売好調でプラスで推移した。
- ④量販店 店舗数の増加でプラスで推移した。

**c.外食業**

天候不順が影響し、前年同月比で微増にとどまった。

**図 A6.小売業売上高 業界別 億 NT\$**

## 「前瞻基礎建設計画」の最終可決について

出所：行政院

### 1. 「前瞻基礎建設計画」の概要

2017年7月5日、民進党政権が公共事業政策の柱として推進する大型インフラ整備計画「前瞻基礎建設計画」の根拠となる「前瞻基礎建設特別条例」が立法院で可決した。当局は2017年3月当初、8年間（2017年～2024年）で8,900億NT\$規模の計画を推進する条例案を提出した。ただし、与野党折衝の結果、4年間で4,200億NT\$規模へと同計画が縮小された。また、計画を延長する場合でも、同計画は最長8年、最大予算規模8,400億NT\$となると定められている。

「前瞻基礎建設計画」では、①グリーンエネルギー、②デジタル建設、③水環境整備、④鉄道・軌道交通（地下鉄やLRT=軽量軌道交通）、⑤地域建設、⑥少子化に対応した育児施設、⑦食安全・安心の基盤、⑧人材の育成・就業の促進のような8項目が柱になる。

### 【「前瞻基礎建設計画」の内訳】

グリーンエネルギー	太陽光エネルギー、風力発電、沙崙緑能科学城等の関連研究開発・長期発展基地の建設等により、エネルギー安全の強化、グリーンエネルギー経済の革新、環境持続・社会公正の促進を目指す
デジタル建設	超ブロードバンドネットワーク社会に関わる基盤インフラの建設推進加速等により、安全かつスマートなブロードバンド・超ブロードバンドの構築、文化創意・コンテンツ産業の1兆台湾ドル产业化等を目指す
水環境整備	治水用、水供給用、水に親しむためのインフラの建設等により、水不足・洪水がなく、水がおいしく、水と親しめる良好な環境の構築を目指す
鉄道・軌道交通	高鉄台鉄連結ネットワーク化・台鉄高度化・東部サービス改善、鉄道立体化・通勤加速、都市MRT推進、中南部觀光鉄道等により、利用しやすく、シームレス、産業の発展につながり、安全で旅行しやすく、持続的経営が可能で、観光の魅力に富む台湾の中核運輸サービスの構築を目指す
地域建設	駐車問題の改善、道路の質向上、「都市の心プロジェクト」、地域に根付いた産業園区の開発、文化生活園建設、キャンパスコミュニティ化改造、公共交通拠点の整備、レジャー・スポーツ環境の整備、「客家浪漫台3線」、「原民部落」建設等により、公共環境の質向上、民衆の生活条件改善、台湾全体のイメージ向上を目指す
少子化に対応した育児施設	家庭における子育てを支えるため、国、地方公共団体、地域等が協力するシステムの構築により、子育てに喜びや楽しみを持ち安心して子供を生み育てることができる社会を目指す
食安全・安心の基盤	食品検査体制の充実、輸入食品の安全性確保等により、食安全・安心基盤の強化を目指す
人材の育成・就業の促進	大学発ベンチャー等に対するインキュベーション事業を行うための施設の整備、国際的な産学官連携体制の強化等により、大学発ベンチャーの成長や若年者の就業促進を目指す

### 2. 「前瞻基礎建設計画」の予算規模

2017年7月11日、台湾行政院は「前瞻基礎建設計画」の第1期特別予算案（2017年9月～2018年末、予算規模1,089億NT\$）を発表した。うち、地域建設（354億NT\$）、水環境整備（257億NT\$）、鉄道・軌道交通（170億NT\$）等が予算額の上位を占める。

3月以降新たに追加された項目では、人材の育成・就業の促進に42億NT\$、少子化に対応した育児施設に20億NT\$、食安全・安心の基盤に3億NT\$の予算が組まれた。